

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2014 年度（自 2013 年 10 月 1 日 至 2014 年 9 月 30 日）第 1 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

☐開催日時 2014 年 4 月 8 日（火）14：00～16：45

☐開催場所 トラストシティ カンファレンス・丸の内 Room 1

☐理事総数 20 名

☐監事総数 4 名

☐出席理事数 19 名

☐出席監事数 4 名

☐出席理事の氏名

北野正剛（理事長）、渡邊昌彦（副理事長）、岩崎昭憲、岩中 督、大貫恭正、小澤壯治、
黒川良望、坂井義治、塩田 充、堤 治、寺地敏郎、徳村弘実、橋爪 誠、万代恭嗣、
松田公志、森 俊幸、森川利昭、山下裕一、若林 剛

☐出席監事の氏名

大橋秀一、木村泰三、馬場志郎、松本純夫

☐出席幹事の氏名

佐々木章

☐出席名誉理事長の氏名

北島政樹

☐議長の氏名

北野正剛

☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り、北野正剛理事長より、理事会の定款所定数を満たしたので有効に成立した旨が宣
され、議事が開始された。

1. 前回の理事会議事録が確認された。

2. 報告事項

1) 編集委員会報告

(1) 日本内視鏡外科学会雑誌（北野正剛編集主幹）

- ・投稿状況が報告された。

(2) Asian Journal of Endoscopic Surgery（北島政樹編集主幹）

- ・活動報告がなされた。併せて、インパクトファクター獲得に関して、2014年11月末にISIへ申請予定であることが報告された。

2) 総務委員会報告（若林剛委員長）

- ・庶務報告 会員数 11,156 名（2014 年 3 月 13 日現在）
- ・新規入会者数が増えていることが報告された。

3) 教育委員会報告（黒川良望委員長）

- ・橋爪誠委員が副委員長に就任したこと、文敏景委員および金尾祐之委員が新たに就任したことが報告された。
- ・内視鏡下結紮・縫合手技講習会について、獣医師の参加を認めるかが議論された。今回要望のあった1名については認めることとし、今後の講習会参加者のあり方については、別途検討していくこととなった。なお、今年度の講習会についてはこれまで通りに非会員の参加も認めるが、講習会受講者は会員であることが望ましいことが確認された。
- ・獣医師の入会に関して、独立した会員区分を設けるかも含めて総務委員会および規約委員会にて検討することとなった。
- ・用語集改訂に関して、「鏡視下手術」は用語集の正式な単語とはしないが、「内視鏡下手術」の注釈として、「鏡視下手術という言葉方もしている」といった説明を入れることとなった。「鏡視下」は使用すべきではないことを改めて JSES として広めていくべきという意見が出された。また、演題等の投稿においても「鏡視下」は認めるべきではないという意見が出された。
- ・海外渡航者が家畜の飼育領域に1週間入れないという件に関して、現在の法律では、そのような規制はないことが報告された。
- ・前回理事会後に30の講習会を後援講習会として認定した。

4) 国際委員会報告（万代恭嗣委員長）

- ・2014年4月に韓国で開催される日韓若手外科医フォーラムについて、グラント募集の選考結果が報告された。韓国側からは参加費免除の上、1,000 US \$ が支弁される。また、2014年10月の第27回総会でも同様のシンポジウムを開催することとなった。
- ・今後、定期的に KSELS-JSES のジョイントシンポジウムを開催することが承認された。グラントの内容や開催頻度については、今後検討していくこととなった。頻度については SAGES と同様に、1年毎に交互に開催してはとの意見が出された。
- ・SAGES-JSES のジョイントシンポジウムについて報告された。
- ・2014年のIFSES分担金の納入が完了したことが報告された。
- ・2013年10月のIFSES理事会議事録が報告され、By-Laws については、前回理事会にて報告した懸案箇所以外についてのみ、承認されたことが確認された。

- ・WCES 2014 パリでの World Cup セッションは、猪股雅史氏（大分大学 医学部 消化器・小児外科学講座）がJSES 代表として参加することが報告された。テーマは「Clinical evidence of laparoscopic D3 resection for colorectal cancer. - Japanese randomized controlled trial -」

5)学術委員会報告（山下裕一委員長）

- ・内視鏡外科手術に関するアンケートの調査結果について、北海道内視鏡外科研究会より北海道地区のデータがほしいとの依頼があった旨が報告され、資料提供が承認された。併せて、今後同様に公開されていない資料の提供依頼があった場合の提供方針が検討された。提供方針については提示案を、評議員会で審議することとなった。
- ・NCD データを利用した胃癌への腹腔鏡下胃切除術に関する研究について、層化ランダム抽出により選出された 179 施設へ調査協力依頼を行う予定であることが報告された。研究費については、半額を内視鏡外科学会が負担し、残りをがん研有明病院、腹腔鏡下胃切除研究会で折半することが確認された。

6)規約委員会報告（徳村弘実委員長）

- ・報告事項なし

7)広報委員会報告（森川利昭委員）

- ・NewsLetter 16 号発行が報告された。
- ・ホームページのトップ写真の更新が報告された。
- ・12 の団体について本学会ホームページでのお知らせやリンク掲載の許可を行った。

8)ガイドライン委員会報告（坂井義治委員長）

- ・日本語版の編集については、ワイリー・パブリッシング・ジャパン株式会社へ発注することが承認された。また、英語版への翻訳については、日本コンベンションサービス株式会社へ発注することが承認された。
- ・今後外部評価を受け、日本語版ガイドラインは、日本内視鏡外科学会雑誌の特別号として、夏以降に発行する予定であることが報告された。
- ・英語版については、領域毎に 1 巻ずつ掲載することとなった。

9)保険委員会報告（岩中督委員長）

- ・平成 26 年 4 月の診療報酬改定結果が報告された。
- ・黒柳洋弥委員が新たに委員として就任したことが報告された。

10)第三者評価委員会（岩中督委員長）

- ・福岡県警からの捜査協力依頼を受けて、専門家の紹介を行うことが承認された。

11)倫理・渉外委員会報告（堤治委員長）

- ・報告事項なし

12)COI 委員会報告（森川利昭委員長）

- ・ 2014 年度の役員等の COI 自己申告を依頼したことが報告された。
- ・ 日本医学会の医学研究の COI マネージメントに関するガイドラインが改定されたことが報告された。今後、手術機器に関しても検討していく予定であることが併せて述べられた。

13)医工学連携委員会報告（森川利昭委員長）

- ・ 鈴木裕委員が副委員長として就任したこと、牛久健司委員および柏野聡彦委員が新たに委員として就任したことが報告された。
- ・ 今後、活動を拡張していく予定であることが報告された。
- ・ 医工ものづくりコモンズと協力して第 27 回総会における医工連携プログラムを検討していることが報告された。

14)メディカル・チーム検討委員会報告（岩崎昭憲委員長）

- ・ メディカルスタッフヘマニュアルを送料自己負担にて販売することが承認された。
- ・ マニュアルを有効活用していただけるように、看護協会といった他団体に連絡して、広報することとなった。
- ・ 現時点で PDF 版を会員専用ページに掲載することは見送られた。

15)技術認定制度委員会報告（松田公志委員長）

- ・ 消化器・一般外科領域および小児外科領域の 2013 年技術認定合格者が承認された。
- ・ 泌尿器科領域および産科婦人科領域の技術認定新規・更新申請が承認された。
- ・ 各領域技術認定審査の最新状況が報告された。
- ・ 消化器・一般外科領域の審査委員追加、小児外科領域の審査委員再任が承認された。
- ・ 技術認定制度関係の論文を会員専用ページではなく、学会ホームページへ公開することが承認された。

16)E ラーニング検討委員会報告（大貫恭正委員長）

- ・ 委員会議事録をもとに E ラーニング実施に向けての検討状況が報告された。
- ・ 世川修委員が新たに委員として就任したことが報告された。

17)将来構想委員会報告（寺地敏郎委員長）

- ・ 山高篤行委員が新たに委員として就任したことが報告された。

18)ロボット支援手術検討委員会報告（橋爪誠担当理事）

- ・ 日本産科婦人科学会からの技術認定取得の条件について配慮してほしいという要望書をもとに、産科婦人科領域における婦人科悪性腫瘍に対するロボット支援手術に関して議論され、ロボット支援手術検討委員会・技術認定制度委員会・教育委員会・関連領域理事にて確認のうえ、早々に回答書を送付することとなった。
- ・ 先進医療 B 申請に向け、各領域にて検討中であることが報告された。このための研究に関して、学会が寄付金を受け取ることは好ましくなく、寄付のあり方について、弁護士の意見を踏まえて、確認することとなった。

19) 評議員選考委員会報告（塩田充委員長）

- ・ 6 月 30 日を締め切りとして、評議員申請を受け付け中であることが報告された。
- ・ 評議員選考に関する規程を改訂する予定であることが報告された。

20) 専門医制度検討委員会報告（渡邊昌彦委員長）

- ・ 報告事項なし

21) 大上賞選考委員会報告（渡邊昌彦委員長）

- ・ 報告事項なし

22) 出月賞選考委員会報告（森俊幸委員長）

- ・ 報告事項なし

23) 第 27 回総会報告（若林剛会長）

- ・ 総会および第 2 回腹腔鏡下肝切除術 国際コンセンサス会議の準備状況が報告された。
- ・ 既に演題募集を開始しており、5 月上旬に締め切る予定であることが報告された。
- ・ 研修医のビデオ演題を要望演題として作ったこと、審査員の先生にコメントをいただけるようなセッションも検討中であることが述べられた。

24) 第 28 回総会報告（松田公志次期会長）

- ・ 2015 年 12 月 10 日（木）～12 日（土）、大阪国際会議場およびリーガロイヤルホテル開催にて企画中であることが報告された。

25) 第 29 回総会報告（渡邊昌彦次々期会長）

- ・ 2016 年 12 月 8 日（木）～10 日（土）、パシフィコ横浜にて開催する旨が報告された。

26) 日本医学会等報告（北野正剛理事長）

- ・ 日本医学連合が発足することとなったこと、会員数に比した金額を分担金として拠出することが報告された。
- ・ 肥満症外科治療に関する内科系、外科系関連学会合同委員会が開催され、今後活動していく予定である旨が報告された。
- ・ 2014 年度にかかる総会として、10 月の第 27 回総会時と 12 月の定時総会の 2 回が開催される予定であることが報告された。定時総会については、2014 年 12 月 9 日（火）16：00～16：30 に、東京駅周辺の会場にて開催することが承認された。

3. 審議事項

1) 財務委員会（小澤壯治委員長）

- ・ 2015 年度の予算案が承認された。
- ・ 旅費節約のため、Web 会議の導入を検討することとなった。

2) 第 30 回総会会長（北野正剛理事長）

- ・坂井義治理事が推薦された。

3) 退任となる理事 / 監事の後任（北野正剛理事長）

- ・万代恭嗣理事より，渡邊聡明氏（東京大学腫瘍外科）が次期理事に推薦された。
- ・大橋秀一監事および木村泰三監事は 2014 年度をもって退任することとなった。

以上